

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	一般社団法人玉の緒会		
所在地	東京都港区	設立年	2021年
運営主体	一般社団法人玉の緒会		
事業目標	こども達が身近な場所で継続的に伝統芸能に触れられるよう、その受け皿となる連続講座を私たちが提供したいと考え、三味線だけでなく、日本舞踊、琴の体験機会を提供し、興味関心に合わせて参加できるようにしていく。		
きっかけ	当会は、長唄三味線の普及・啓蒙活動を通じて、日本の伝統文化を知るきっかけや人々の交流機会を増やすことを目的として活動している団体である。港区新橋と神奈川県二宮で三味線教室の運営を行っており、また長唄三味線の普及公演も実施してきた。任意団体として2008年から活動してきたが、2021年9月に法人化し、現在は一般社団法人として活動している。当会の代表理事は、三味線の師範として自治体の要請を受けて、たびたび学校での演奏を行い、子供たちが伝統文化に触れる機会を提供してきた(横浜市芸術文化教育プラットフォーム)。そこでの経験から、一度限りの古典芸能の鑑賞教室で終えるのではなく、そこで関心をもった子供たちに継続して伝統芸能に触れる機会を提供できないかと考えてきた。		
団体・組織等の連携	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団(神奈川県横浜市):運営・広報協力 横浜邦楽邦舞家協会:企画運営協力		
活動場所	神奈川県横浜市、 横浜にぎわい座(にぎわい座がNGの場合の代替会場として横浜能楽堂)		
活動概要	横浜にぎわい座での披露会を目標に、三味線・箏・日本舞踊の3カ月講座を開催		

○本事業による成果

- ・①3カ月という期間限定②楽器レンタルで自宅での練習が可能となり③披露会の明確な目標設定があることで短期間ながら参加しやすい充実した講座ができた。
- ・講座終了後のアンケートでは80%がとても満足と回答。同様の講座を実施する場合は100%がまた参加したいと回答。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・三味線・箏の楽器は初回に調弦や楽器の扱いを説明、自宅学習への移行を可能にした。
- ・情報共有や自宅練習の補助教材としてLINEやyoutubeを活用。調弦や指遣いなど質問も随時受付双方向のやり取りができた。
- ・三味線・箏は複数の指導者を配置することできめ細かい指導ができた。
- ・稽古開催日を土日午後に実施・参加しやすい日時を設定した。

○運営上の工夫

- ・広報は開講2か月前より公益財団法人横浜市芸術文化財団に依頼。横浜能楽堂友の会、横浜市文化施設へのチラシ配布を協力いただいた。また稽古会場周辺へポスティングを行った。またSNSでも拡散。
- ・受講者募集時期がコロナ第7派に当り応募状況が芳しくなかったため、募集時期を延長。後からの参加者には補講を設定した。
- ・披露会を横浜邦楽邦舞家協会の公演に組み込むことにより、より多くの観客に活動を周知できた。

○継続的な運営に関する課題・展望

- ・公益財団法人横浜市芸術文化財団の協力で稽古会場の優先確保。
- ・参加者数の伸び悩んだ原因として横浜の文化施設・商業施設が集中する地区での開催に原因があるのではないかと考えている。次回以降は比較的小中学生の在住率の高い地域での展開を考えたい。
- ・横浜邦楽邦舞家協会の協力により、長唄三味線を専門とする一般社団法人玉の緒会の他に箏・日本舞踊の専門家に指導を依頼することができた。
- ・楽器レンタルの助成は大変喜ばれた。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

- ・公NPO法人STスポット横浜、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局が連携・協働している【横浜市芸術文化教育プラットフォーム】の学校プログラムの放課後の受け皿となるべく展開していきたい。
- ・横浜市の比較的小中学生の在住率の高い地域での展開。
- ・継続して横浜邦楽邦舞家協会の協力を得る。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	横浜市内の小学5年～中学生 4名
	学校名	
	募集方法	・公益財団法人横浜市芸術文化財団を通じて横浜市文化施設等へのチラシ配布 ・Web(HP,SNS) ・講座会場近隣住宅へのポスティング
指導者	人数等	6名
	募集方法	横浜邦楽邦舞家協会会員による
参加者の移動手段		保護者による送迎/徒歩
活動費用	指導者謝金等	謝金 5,100円/時間、交通費実費(横浜市外在住者のみ)
	その他	会場費 172,800円(9回分) 楽器運搬費 70,000円(7回分)
活動財源	会費	1200円/回(披露会含む)
	その他	特になし
スケジュール	基本活動	8月～10月の月2回(土曜日、日曜日のいずれか)各2時間 披露会10月30日
	年間	4月:楽器店と打ち合わせ、横浜市文化振興財団に共催依頼 5月:チラシの作成、印刷 6月～7月:受講者募集 8月～10月:講座開講、披露会 11月～2月:報告書作成
保険加入等		特になし

【活動の様子（写真添付）】

